

### キャリア支援を考える 7 : 適性検査は視野を狭めないか？

Kawakita, Takashi / 川喜多, 喬

---

(出版者 / Publisher)

教育新聞社

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

教育新聞 / 教育新聞

(号 / Number)

2564

(開始ページ / Start Page)

4

(終了ページ / End Page)

4

(発行年 / Year)

2005-09

# キャリア支援を考える

—7

私は営業職に向いているらしいんです…と、ある学生が業者テストの結果を持って私に相談に来た。さて、営業職とは何であろうか？

技術屋だつて同じで、製品技術と生産技術と技術営業…、みな技術職として共通のところばかりに着目すべきだろうか。また、個人の側だつて、きわめて可塑性に富んでいることはいまでもない。あんなに内向的だった学生がほんの数年前ぶりに会ったら見違えるように外向的になっている。テストを学生に配布するだけの教員には、それなのに「適材適所」を言い立て、人をまるで幽霊のように考え、どこかに当てはめればよい、当てはまるはずだ、当てはまらずに悩む者はからからしていて腰が定まらないかのように言う世論は、危険である。

就職率を高めるためには早めに適性に合った職業を自覚させる、というわけか、多用されているのが職業適性テストである。仕事が身体的な特性と関連があるときは、身体的能力を検査することには合理性がある場合がある。また、仕事に知識・情報量と関連が強い場合は、記憶力だとか思い出す力とかを検査することも合理性がある。しかし、仕事により知的熟練や情緒制御力を要するものになったり、その場の状況に依存するものになったり、ごく短時間を実施され、しばしば自計式のあれこれのテストなるものが合理的なものかどうか、ますます疑ってかかって当然といえよう。

また、個人の側だつて、きわめて可塑性に富んでいることはいまでもない。あんなに内向的だった学生がほんの数年前ぶりに会ったら見違えるように外向的になっている。テストを学生に配布するだけの教員には、それなのに「適材適所」を言い立て、人をまるで幽霊のように考え、どこかに当てはめればよい、当てはまるはずだ、当てはまらずに悩む者はからからしていて腰が定まらないかのように言う世論は、危険である。

## 適性検査は視野を狭めないか？

一匹オオカミ型の営業と、チームワーク型とは違うであろう。また、営業と技術・設計・製造などがプロジェクトチームを組んで行うものには特殊な力が求められるよう。生

学生が、いやいや海外勤務に出て、数年後には貿易会社を興していることもある。自分は何れに向いているか言われてその業界職種しか見えなくなると、こういふ難きをもちあつてくれる若者が減るに違いない。

法政大学キャリアデザイン学部教授 川喜多 喬